

天竜川上流 ニュースレター

2011年 1号



5/7 天竜川体験講座で ウシガエル捕獲大作戦を実施

特定外来生物「ウシガエル」の捕獲で 水辺の生態系保全と生態調査の基礎知識を学びました。

5月7日（土）、飯田市・天竜川総合学習館（かわらんべ）において、水辺の生態系保全に理解を深めることを目的に、「ウシガエルとそのオタマジャクシの捕獲」を行いました。

約50名の皆様に参加いただき、ウシガエルの生態と周辺環境に及ぼす影響を学んだ後、150匹以上を捕獲しました。また、池にどれだけのウシガエルが生息しているのかを推定する調査を併せて行い、専門的な手法を用いた生態調査の基本についても学んでいただきました。

同ビオトープでは、近年増え続けるウシガエルが原因で他の生き物が減っています。もはやこの池にトノサマガエルなどの他のカエルは住んでいません。「生き物がたくさん戻ってきますように・・・」そんな願いも込められた講座でした。



池の中央に設置した網にウシガエルとそのオタマジャクシを追い込む参加者



ウシガエルのオタマジャクシは巨大で右のザリガニと同程度。オタマジャクシというよりフグのようです。



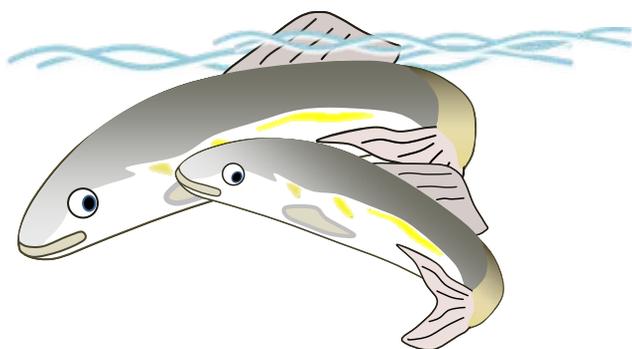
ウシガエル

大型で極めて捕食性が強く、口に入る大きさであれば、ほとんどの動物が餌となる。日本のみならずアメリカ合衆国でも最大のカエルで、頭胴長 183mmに達する。水生傾向が強く、後肢の水かきはよく発達する。

幼生も大型で、全長 150mmになる。貪欲な捕食者で、昆虫やザリガニの他、小型の哺乳類や鳥類、爬虫類、魚類までも捕食する。 ※環境省HPより

次回の天竜川体験講座は・・・

「アユの子どもも大きくなーれ」



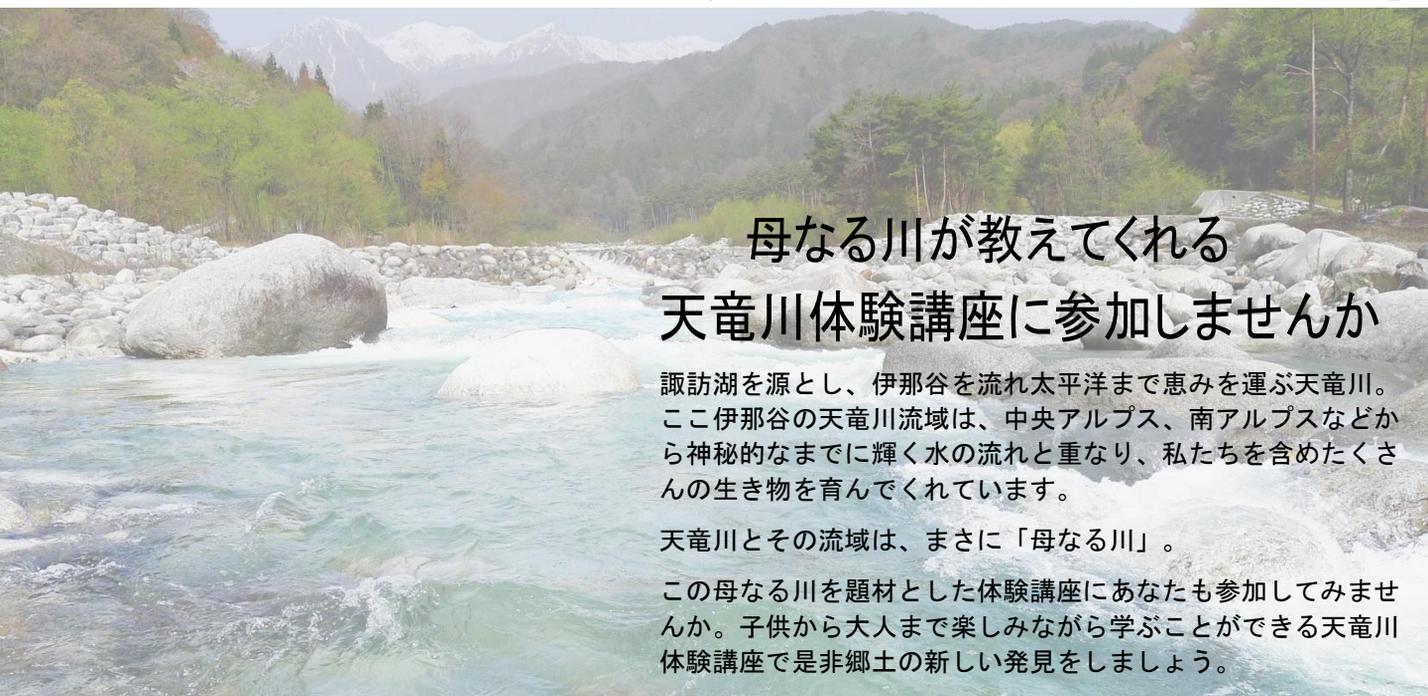
下伊那漁協様との共催により、アユの稚魚を放流します。同時にアユの性質を学んだり観察も行います。地域の清流を象徴するアユについて学ぶことで、流域の生き物をはぐくむ自然の大切さについて理解を深めます。

日時：~~5月14日(土)~~ 13:00～15:00

▼ 川の水位が高いため延期します。

日時：5月21日(土) 13:00～15:00

場所：「天竜川総合学習館(かわらんべ)」



母なる川が教えてくれる 天竜川体験講座に参加しませんか

諏訪湖を源とし、伊那谷を流れ太平洋まで恵みを運ぶ天竜川。ここ伊那谷の天竜川流域は、中央アルプス、南アルプスなどから神秘的なまでに輝く水の流れと重なり、私たちを含めたくさんの生き物を育ててくれています。

天竜川とその流域は、まさに「母なる川」。

この母なる川を題材とした体験講座にあなたも参加してみませんか。子供から大人まで楽しみながら学ぶことができる天竜川体験講座で是非郷土の新しい発見をしましょう。

■ 天竜川体験講座に関するお問い合わせ先 ■

国土交通省 天竜川上流河川事務所 調査課
〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南7-10
電話 0265-81-6415
FAX 0265-81-6421
ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/>

■ ■ 天竜川体験講座のお申し込み先 ■ ■

天竜川総合学習館(かわらんべ)
飯田市川路7674
電話 0265-27-6115
FAX 0265-27-6125
ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/kawaranbe/>

※講座の申込については、天竜川総合学習館(かわらんべ)で一括して受付を行っております。

「天竜川総合学習館(かわらんべ)」は、災害時の防災拠点としての役割のほか、通常時は飯田市において天竜川とその流域を題材とした地域の皆様向けの独自体験学習講座を数多く行っています。当事務所では、これらの講座と連携しながら河川・砂防事業に関連する講座を主体的に計画し、「天竜川体験講座」として、年間15回の開催を予定しています。

企画・編集・発行

国土交通省 天竜川上流河川事務所 調査課
〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南7-10
電話 : 0265-81-6415
FAX : 0265-81-6421
HP : <http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/>